

調査計画

1 調査の名称

賃金構造基本統計調査

2 調査の目的

この調査は、主要産業に雇用される労働者について、その賃金の実態を雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経験年数別等に明らかにすることを目的とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（全国 その他）

（注）別表の1に掲げる地域を除く。

(2) 属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体 その他）

ア 事業所

日本標準産業分類による「鉱業、採石業、砂利採取業」、「建設業」、「製造業」、「電気・ガス・熱供給・水道業」、「情報通信業」、「運輸業、郵便業」、「卸売業、小売業」、「金融業、保険業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」（その他の生活関連サービス業のうち家事サービス業を除く。）、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」、「複合サービス事業」、「サービス業（他に分類されないもの）」（外国公務を除く。）に属する事業所であって、次に掲げる事業所

（ア）常用労働者10人以上を雇用する事業所（民営の事業所及び行政執行法人の労働関係に関する法律（昭和23年法律第257号）第2条第1号に規定する行政執行法人又は地方公営企業等の労働関係に関する法律（昭和27年法律第289号）第3条第3号に規定する地方公営企業等に係る事業所に限る。）

（イ）常用労働者5人以上9人以下を雇用する事業所（民営の事業所であって、常用労働者5人以上9人以下を雇用する企業に属する事業所に限る。）

イ 労働者

上記事業所に雇用される労働者（船員法（昭和22年法律第100号）第1条の規定による船員を除く。）

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

ア 事業所

約 8 万事業所（母集団の大きさ：約 150 万事業所）

イ 労働者

約 170 万人（母集団の大きさ：約 4, 300 万人）

（注）母集団の大きさについては、いずれも事業所母集団データベースによる。

(2) 報告者の選定方法（全数 無作為抽出(全数階層あり) 有意抽出)

事業所を第 1 次抽出単位、労働者を第 2 次抽出単位とする層化二段抽出法を用いている。

ア 事業所

調査実施時期に利用可能な最新の事業所母集団データベースによる事業所名簿に基づき、都道府県、産業、事業所規模別に層化無作為抽出により選定する（母集団事業所数が少ない層については、精度を確保するために全数を調査する場合がある。）。

イ 労働者

アの事業所に雇用される労働者から無作為抽出により事業主が選定する。

(3) 報告義務者

調査事業所の事業主。ただし、厚生労働大臣が指定する企業（以下「一括調査企業」という。）に属する調査事業所にあつては、一括調査企業を代表する者（以下「一括調査企業の報告義務者」という。）。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

ア 事業所に係る事項

- ① 事業所の名称及び所在地並びに法人番号
- ② 主要な生産品の名称又は事業の内容
- ③ 事業所の雇用形態別労働者数
- ④ 企業全体の常用労働者数

イ 労働者に係る事項

- ① 性
- ② 雇用形態
- ③ 就業形態（常用労働者に限る。）
- ④ 最終学歴（常用労働者に限る。）
- ⑤ 新規学卒者への該当性（一般労働者に限る。）

- ⑥ 年齢
- ⑦ 勤続年数（常用労働者に限る。）
- ⑧ 役職（常用労働者 10 人以上を雇用する事業所に雇用される常用労働者であって、別表の 2 に掲げる役職のものに限る。）
- ⑨ 職種
- ⑩ 経歴年数（常用労働者 10 人以上を雇用する事業所に雇用される常用労働者に限る。）
- ⑪ 実労働日数
- ⑫ 所定内実労働時間数
- ⑬ 超過実労働時間数
- ⑭ きまって支給する現金給与額
- ⑮ 超過労働給与額
- ⑯ 昨年 1 年間の賞与、期末手当等特別給与額（常用労働者に限る。）
- ⑰ 在留資格（出入国管理及び難民認定法（昭和 26 年政令第 319 号）別表第 1 の上欄（特定技能の在留資格にあつては、2 の表の特定技能の項の下欄に掲げる第 1 号又は第 2 号の区分を含む。）及び別表第 2 の上欄の在留資格をいう。以下この号において同じ。）（外国人（日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法（平成 3 年法律第 71 号）に定める特別永住者及び出入国管理及び難民認定法別表第 1 の 1 の表の外交又は公用の在留資格をもって在留する者を除く。）である常用労働者に限る。）

〔集計しない事項の有無〕 無 有

- ・事業所の名称及び所在地については、調査票配布の他、回答状況の確認や督促・疑義照会の際に用いるとともに、事業所母集団データベースに登録し、同データベースを充実させるために用いるものであり、集計は行わない。
- ・法人番号については、事業所母集団データベースを充実させるために用いられるほか、調査票情報の二次的な利用の一環として、他の統計調査とのデータ接続を行う際に用いられる場合が考えられるものであり、集計は行わない。
- ・主要な生産品の名称又は事業の内容については、産業分類に関する疑義照会の際に用いるものであり、集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

調査実施年の 6 月 30 日現在（給与締切日の定めがある場合には、6 月の最終の給与締切日現在）の状況。ただし、(1) に掲げる事項のうち、イの⑪ 実労働日数、⑫ 所定内実労働時間数、⑬ 超過実労働時間数、⑭ きまって支給する現金給与額及び⑮ 超過労働給与額については、6 月 1 日から 6 月 30 日までの

期間（給与締切日の定めがある場合には6月の最終の給与締切日以前1箇月間）、⑯ 昨年1年間の賞与、期末手当等特別給与額については、調査を実施する年の前年の1月1日から12月31日までの期間（調査を実施する年の前年の1月2日以降において雇用された調査労働者のうち、7月1日以前に雇用されたものについては、雇用の日から1年間、7月2日以降に雇用されたものについては、雇用の日から調査を実施する年の6月30日までの期間）の状況。

6 報告を求めるために用いる方法

(1) 調査系統

ア 一括調査企業に属する調査事業所

(ア) 調査票の配布

厚生労働省 — 民間事業者 — 報告者

(イ) 調査票の回収

(オンライン調査以外)

厚生労働省 — 民間事業者 — 報告者

(オンライン調査)

厚生労働省 — 報告者

イ 一括調査企業に属する調査事業所以外の調査事業所

(ア) 調査票の配布

厚生労働省 — 報告者

(イ) 調査票の回収

(オンライン調査以外)

厚生労働省 — 都道府県労働局 — (労働基準監督署) — (調査員・職員) — 報告者

(オンライン調査)

厚生労働省 — 報告者

(2) 調査方法

■郵送調査 ■オンライン調査 (■政府統計共同利用システム □独自のシステム □電子メール)

■調査員調査 ■その他 (職員)

[調査方法の概要]

ア 統計調査員

調査の事務に従事させるため、統計調査員をおく。

(ア) 統計調査員は、都道府県労働局長が任命する。

(イ) 統計調査員は、都道府県労働局長の指揮監督を受けて、調査事業所の事業主に対する必要な指導、調査票の取集、審査その他調査の実施に伴う事務に従事する。

イ 調査票の配布及び回収

調査票の配布は、一括調査企業にあつては厚生労働省が業務を委託する民間事業者（以下「民間事業者」という。）から、一括調査企業に属する調査事業所以外の調査事業所にあつては厚生労働省から、それぞれ報告義務者あて調査票を郵送することにより行う。

調査票の回収は、次の①から③の提出方法のうち報告義務者が選択した方法により行う。この場合、調査票の提出先及び審査を行う機関は、それぞれ下表の区分のとおりとする。

①記入済み調査票を郵送する方式

②インターネットを利用したオンライン報告方式（政府統計共同利用システムを利用する。）

③調査票の様式により記入した光ディスクを郵送する方式（光ディスクについては、調査事業所の名称（一括調査企業にあつては一括調査企業の名称）等必要な事項を記載した書面を貼り付けることとする。）

区分	提出方法	提出先	審査を行う機関
一括調査企業 ^{※1}	①記入済み調査票を郵送する方式	民間事業者	民間事業者
	②インターネットを利用したオンライン報告方式	厚生労働大臣	民間事業者
	③調査票の様式により記入した光ディスクを郵送する方式	民間事業者	民間事業者
一括調査企業に属する調査事業所以外の調査事業所	①記入済み調査票を郵送する方式	都道府県労働局長又は労働基準監督署長	都道府県労働局長 ^{※2}
	②インターネットを利用したオンライン報告方式	厚生労働大臣	厚生労働大臣（民間業者に委託して行うことができる。）
	③調査票の様式により記入した光ディスクを郵送する方式	都道府県労働局長又は労働基準監督署長	厚生労働大臣（民間業者に委託して行うことができる。）

※1 一括調査企業の報告義務者は、傘下の調査事業所に係る全ての調査票に記入する。

※2 労働基準監督署長あてに提出された調査票については、労働基準監督署長が審査・取りまとめ後都道府県労働局長に提出することとし、都道府県労働局長はこれを審査する。

ただし、調査票又は光ディスクの内容審査を厚生労働大臣以外の機関が行う場合は、各機関は厚生労働大臣の定める期限までに内容審査が完了した調査票又は光ディスクを取りまとめ、厚生労働大臣に提出することとし、厚生労働大臣はこれを審査する。

また、調査票の回収は、原則として上記方法により行うものとするが、都道府県労働局長が必要と認める場合は、都道府県労働局若しくは労働基準監督署の職員又は統計調査員が調査票を取集するものとする。

ウ 立入検査

調査に従事する職員及び統計調査員は、統計法（平成19年法律第53号）第15条第1項の規定により、調査のため、必要な場所に立ち入り、調査事項について帳簿、書類その他の物件を検査し、又は関係者に対し質問をすることができる。この場合には、その身分を示す証明書を携帯し、関係者の請求があったときは、これを提示しなければならない。

7 報告を求める期間

(1) 調査の周期

1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期 その他（ ）

（1年を超える場合又は不定期の場合の直近の実施年： 年）

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

毎年7月1日から7月31日まで実施する。

報告義務者は、調査票又は光ディスクを調査実施年の7月31日までに提出する（提出先は6（2）イのとおり。）。

8 集計事項

別紙「賃金構造基本統計調査 集計事項」を参照

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表の方法（e-Stat インターネット（e-Stat以外） 印刷物 閲覧）

(2) 公表の期日

一次集計結果は調査実施翌年の1月までに、二次集計結果の概況は調査実施翌年の3月までに、e-Stat

及び厚生労働省ホームページに掲載する。その後、調査実施翌年の6月までに、二次集計結果の詳細をe-Statに掲載するとともに、その一部を掲載した報告書（印刷物）を刊行する。

10 使用する統計基準等

使用する→日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他（ ）

使用しない

調査対象の範囲の画定及び集計結果の産業別表章においては、日本標準産業分類を使用する。また、職種別表章においては、日本標準職業分類に基づき設定した別表の3に掲げる職種区分を使用する。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

	保存期間	保存責任者
記入済み調査票又は光ディスクの内容	調査実施年の6月30日から2年間	厚生労働省賃金福祉統計官
調査票又は光ディスクの内容を収録した電磁的記録	永年	厚生労働省政策統括官付参事官（企画調整担当）

12 立入検査等の対象とすることができる事項

「5（1）報告を求める事項」に掲げる事項

別表

1 除外される地域

北海道	奥尻郡、苫前郡羽幌町のうち大字天売及び大字焼尻、礼文郡、利尻郡
東京都	利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村
長崎県	佐世保市のうち宇久町、西海市のうち崎戸町江島及び崎戸町平島、北松浦郡のうち小値賀町
鹿児島県	西之表市、薩摩川内市のうち鹿島町、上甕町、里町及び下甕町、鹿児島郡、熊毛郡、大島郡瀬戸内町のうち大字与路、大字池地及び大字請阿室、大島郡のうち喜界町、徳之島町、天城町、伊仙町、和泊町、知名町及び与論町
沖縄県	島尻郡のうち渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、伊平屋村、伊是名村及び久米島町、宮古郡、八重山郡

※この表に掲げる名称は、平成 31 年 3 月 1 日時点における名称とし、同表に定める地域は、それらの名称を有するものの同日における区域を用いて示された地域とし、その後におけるそれらの名称の変更又はそれらの名称を有するものの区域の変更によって影響されないものとする。

2 調査する役職

部長級	課長級	係長級	職長級	その他の役職
-----	-----	-----	-----	--------

3 調査する職種

管理的職業従事者
研究者
電気・電子・電気通信技術者（通信ネットワーク技術者を除く）
機械技術者
輸送用機器技術者
金属技術者
化学技術者
建築技術者
土木技術者
測量技術者
システムコンサルタント・設計者
ソフトウェア作成者
その他の情報処理・通信技術者
他に分類されない技術者

医師
歯科医師
獣医師
薬剤師
保健師
助産師
看護師
准看護師
診療放射線技師
臨床検査技師
理学療法士，作業療法士，言語聴覚士，視能訓練士
歯科衛生士
歯科技工士
栄養士
その他の保健医療従事者
保育士
介護支援専門員（ケアマネージャー）
その他の社会福祉専門職業従事者
法務従事者
公認会計士，税理士
その他の経営・金融・保険専門職業従事者
幼稚園教員，保育教諭
小・中学校教員
高等学校教員
大学教授（高専含む）
大学准教授（高専含む）
大学講師・助教（高専含む）
その他の教員
宗教家
著述家，記者，編集者
美術家，写真家，映像撮影者
デザイナー

音楽家, 舞台芸術家
個人教師
他に分類されない専門的職業従事者
庶務・人事事務員
企画事務員
受付・案内事務員
秘書
電話応接事務員
総合事務員
その他の一般事務従事者
会計事務従事者
生産関連事務従事者
営業・販売事務従事者
外勤事務従事者
運輸・郵便事務従事者
事務用機器操作員
販売店員
その他の商品販売従事者
販売類似職業従事者
自動車営業職業従事者
機械器具・通信・システム営業職業従事者（自動車を除く）
金融営業職業従事者
保険営業職業従事者
その他の営業職業従事者
介護職員（医療・福祉施設等）
訪問介護従事者
看護助手
その他の保健医療サービス職業従事者
理容・美容師
美容サービス・浴場従事者（美容師を除く）
クリーニング職, 洗張職
飲食物調理従事者

飲食物給仕従事者
航空機客室乗務員
身の回り世話従事者
娯楽場等接客員
居住施設・ビル等管理人
その他のサービス職業従事者
警備員
その他の保安職業従事者
農林漁業従事者
製鉄・製鋼・非鉄金属製錬従事者
鋳物製造・鍛造従事者
金属工作機械作業従事者
金属プレス従事者
鉄工，製缶従事者
板金従事者
金属彫刻・表面処理従事者
金属溶接・溶断従事者
その他の製品製造・加工処理従事者（金属製品）
化学製品製造従事者
窯業・土石製品製造従事者
食料品・飲料・たばこ製造従事者
紡織・衣服・繊維製品製造従事者
木・紙製品製造従事者
印刷・製本従事者
ゴム・プラスチック製品製造従事者
その他の製品製造・加工処理従事者（金属製品を除く）
はん用・生産用・業務用機械器具組立従事者
電気機械器具組立従事者
自動車組立従事者
その他の機械組立従事者
はん用・生産用・業務用機械器具・電気機械器具整備・修理従事者
自動車整備・修理従事者

その他の機械整備・修理従事者
製品検査従事者（金属製品）
製品検査従事者（金属製品を除く）
機械検査従事者
画工，塗装・看板制作従事者
製図その他生産関連・生産類似作業従事者
鉄道運転従事者
バス運転者
タクシー運転者
乗用自動車運転者（タクシー運転者を除く）
営業用大型貨物自動車運転者
営業用貨物自動車運転者（大型車を除く）
自家用貨物自動車運転者
その他の自動車運転従事者
航空機操縦士
車掌
他に分類されない輸送従事者
発電員，変電員
クレーン・ウインチ運転従事者
建設・さく井機械運転従事者
その他の定置・建設機械運転従事者
建設躯体工事従事者
大工
配管従事者
その他の建設従事者
電気工事従事者
土木従事者，鉄道線路工事従事者
ダム・トンネル掘削従事者，採掘従事者
船内・沿岸荷役従事者
その他の運搬従事者
ビル・建物清掃員
清掃員（ビル・建物を除く），廃棄物処理従事者

包装従事者

他に分類されない運搬・清掃・包装等従事者

別紙 賃金構造基本統計調査 集計事項

1. 一次集計結果

(常用労働者のうち、一般労働者・企業規模10人以上の事業所に係る集計)

- 第1表 年齢階級、学歴(高校と大学のみ)、企業規模別平均月間所定内給与額
- 第2表 年齢階級、産業(「鉱業、採石業、砂利採取業」を除く)別平均月間所定内給与額
- 第3表 産業(「鉱業、採石業、砂利採取業」を除く)、学歴(高校と大学のみ)別平均月間所定内給与額
- 第4表 勤続年数別平均月間所定内給与額

2. 二次集計結果

○全国に関する事項

①常用労働者のうち一般労働者に関する事項

ア 企業規模10人以上の事業所に係る集計

- 第1表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第2表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第3表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第4表 産業、企業規模、性、学歴、役職、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第5表 企業規模、性、学歴、役職、年齢階級、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第6表 産業、企業規模、性、学歴、役職別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第7表 企業規模、職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第8表 企業規模、職種、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第9表 企業規模、職種、性、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第10表 企業規模、職種、性、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第11表 企業規模、職種、性、雇用形態別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第12表 企業規模、職種、年齢階級、経験年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第13表 職種、性、学歴、年齢階級、経験年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第14表 職種、性、雇用形態、経験年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第15表 企業規模、職種、性、経験年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第16表 企業規模、職種、性、年齢階級、経験年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第17表 企業規模、職種別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第18表 企業規模、職種、性別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第19表 産業、企業規模、職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第20表 産業、企業規模、性、学歴、年齢各歳別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び標準労働者数(標準労働者)
- 第21表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び標準労働者数(標準労働者)
- 第22表 産業、企業規模、性、学歴、特定年齢別所定内給与額階級別標準労働者数及び分布特性値(標準労働者)
- 第23表 産業、企業規模、性、雇用形態、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

- 第 24 表 産業、企業規模、性、雇用形態、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 25 表 産業、性、雇用形態、学歴、年齢階級別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第 26 表 在留資格区分、性、産業別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 27 表 在留資格区分、性、企業規模別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 28 表 在留資格区分、性、雇用形態別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 29 表 在留資格区分、性、産業、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 30 表 在留資格区分、性、企業規模、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 31 表 在留資格区分、性、雇用形態、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第 32 表 在留資格区分、性別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第 33 表 産業、企業規模、性、学歴別平均月間所定内給与額及び労働者数（新規学卒者）
- 第 34 表 産業、企業規模、性、学歴、所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値（新規学卒者）

イ 企業規模5～9人の事業所に係る集計

- 第1表 産業、性、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第2表 産業、性、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第3表 産業、性、学歴、年齢階級別所定内給与額階級別労働者数及び分布特性値
- 第4表 職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第5表 産業、性、雇用形態、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数
- 第6表 在留資格区分、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

②常用労働者のうち短時間労働者に関する事項

ア 企業規模10人以上の事業所に係る集計

- 第1表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第2表 産業、企業規模、性、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第3表 産業、企業規模、性、学歴別1時間当たり所定内給与額階級別短時間労働者数及び分布特性値
- 第4表 企業規模、職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第5表 企業規模、職種、性、経験年数階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第6表 産業、企業規模、性、雇用形態、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第7表 産業、企業規模、性、雇用形態、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第8表 産業、企業規模、性、雇用形態、学歴別1時間当たり所定内給与額階級別短時間労働者数及び分布特性値
- 第9表 在留資格区分、性、産業別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第10表 在留資格区分、性、企業規模別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数

イ 企業規模5～9人の事業所に係る集計

- 第1表 産業、性、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第2表 産業、性、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額
- 第3表 産業、性、学歴別1時間当たり所定内給与額階級別短時間労働者数及び分布特性値
- 第4表 職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第5表 産業、性、雇用形態、学歴、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第6表 産業、性、雇用形態、学歴、年齢階級、勤続年数階級別平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数
- 第7表 産業、性、雇用形態、学歴別1時間当たり所定内給与額階級別短時間労働者数及び分布特性値

③臨時労働者に関する事項

ア 企業規模10人以上の事業所に係る集計

- 第1表 産業、企業規模、性、年齢階級別平均年齢、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1日当たり超過実労働時間数、平均1時間当たりきまって支給する現金給与額及び臨時労働者数
- 第2表 産業、企業規模、性別1時間当たりきまって支給する現金給与額階級別臨時労働者数及び分布特性値
- 第3表 企業規模、職種、性別平均年齢、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1日当たり超過実労働時間数、平均1時間当たりきまって支給する現金給与額及び臨時労働者数

イ 企業規模5～9人の事業所に係る集計

- 第1表 産業、性、年齢階級別平均年齢、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1日当たり超過実労働時間数、平均1時間当たりきまって支給する現金給与額及び臨時労働者数
- 第2表 産業、性別1時間当たりきまって支給する現金給与額階級別臨時労働者数及び分布特性値
- 第3表 職種、性別平均年齢、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1日当たり超過実労働時間数、平均1時間当たりきまって支給する現金給与額及び臨時労働者数

○都道府県に関する事項

①常用労働者のうち一般労働者に関する事項

ア 企業規模10人以上の事業所に係る集計

第1表 地域、産業、企業規模、性、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

第2表 地域、職種、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

第3表 地域、産業、性、学歴別平均月間所定内給与額（新規学卒者）

イ 企業規模5～9人の事業所に係る集計

第1表 地域、産業、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

第2表 地域、性、年齢階級別平均年齢、平均勤続年数、平均月間所定内実労働時間数、平均月間超過実労働時間数、平均月間きまって支給する現金給与額、平均月間所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び労働者数

②常用労働者のうち短時間労働者に関する事項

ア 企業規模10人以上の事業所に係る集計

第1表 地域、産業、企業規模、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数

イ 企業規模5～9人の事業所に係る集計

第1表 地域、産業、性別平均年齢、平均勤続年数、平均月間実労働日数、平均1日当たり所定内実労働時間数、平均1時間当たり所定内給与額、平均年間賞与、期末手当等特別給与額及び短時間労働者数

(参考情報)

1 復元推計の方法

母集団の事業所数に対する有効回答事業所数の割合の逆数を「事業所復元倍率」としている(※)。また、雇用形態(正社員・正職員、正社員・正職員以外、臨時労働者)別に、事業所の労働者数に対する抽出された労働者数の割合の逆数を乗じたものを「労働者復元倍率」としている。この事業所復元倍率と労働者復元倍率の積を各労働者の「復元倍率」として、推計を行っている。

(※) 都道府県、産業及び事業所規模別に計算する。

算出式は以下のとおり。

(ア) 月間平均賃金等1か月当たり平均値及び年間賞与その他特別給与額の平均値は、次の式により推計している。

$$\bar{x} = \frac{\sum_{i=1}^n x_i \cdot F_i}{\sum_{i=1}^n F_i}$$

\bar{x} : 賃金の平均値

i : i 番目の労働者を表す添字

x_i : i 番目の労働者の賃金

F_i : i 番目の労働者の復元倍率

n : 当該区分のサンプル労働者数

(イ) 1時間当たりの平均賃金又は1日当たりの平均所定内実労働時間数は、次の式により推計している。

$$\bar{x} = \frac{\sum_{i=1}^n \frac{x_i}{t_i} \cdot F_i}{\sum_{i=1}^n F_i}$$

\bar{x} : 賃金又は労働時間の平均値

i : i 番目の労働者を表す添字

x_i : i 番目の労働者の賃金又は所定内実労働時間数

t_i : i 番目の労働者の所定内実労働時間数又は実労働日数

F_i : i 番目の労働者の復元倍率

n : 当該区分の標本労働者数

(ウ) 分位数の推計は、賃金額の階級ごとの労働者数を集計し、次の式により行っている。

$$D = a_{i_0} + \frac{\alpha F - \sum_{i=1}^{i_0-1} F_i}{F_{i_0}} (a_{i_0+1} - a_{i_0})$$

$$F = \sum_{i=1}^b F_i$$

D : 分位数

a_i : 階級 i の下限値

F_i : 階級 i の労働者数

b : 階級数

ただし、 i_0 は

$$\sum_{i=1}^{i_0} F_i \geq \alpha F$$

を満たす最小の階級とする。

なお、 α は以下の通り。

第 1 ・ 十分位数 : 1/10

第 1 ・ 四分位数 : 1/4

中位数 : 1/2

第 3 ・ 四分位数 : 3/4

第 9 ・ 十分位数 : 9/10

(エ) 労働者数は、次の式により推計している。

$$F = \sum_{i=1}^n F_i$$

F : 労働者数

F_i : i 番目の労働者の復元倍率

n : 当該区分の標本労働者数

2 標本設計の概要

(1) 抽出方法

(ア) 抽出方法は、事業所を第1次抽出単位、労働者を第2次抽出単位とする層化二段抽出法としている。具体的には、厚生労働省において都道府県、産業、事業所規模別に層化無作為抽出により調査対象事業所を選定し(第1次抽出)(※)、当該事業所の事業主において無作為抽出により記入する労働者を選定する(第2次抽出)。

(※) 事業所の層化は都道府県、産業及び事業所規模別に行っているため、層化基準によらない集計区分は標本設計の際考慮されていない。そのため、サンプルサイズが小さい場合には大きな誤差を含む場合があり、利用に際しては注意を要する。

(イ) 目標精度は、常用労働者の1人平均所定内給与額について設定し、結果利用の重要度を考慮して、基本的に、都道府県、表章産業及び企業規模別の標準誤差率を5%以内に定めている。

(2) 抽出率

(ア) 事業所抽出率は都道府県、産業及び事業所規模別に定める。労働者の抽出率は、100人以上の事業所については産業及び事業所規模別に、100人未満の事業所については事業所規模別に定められている固定値を使用する。

(イ) 抽出率算定に用いた誤差算式は、次ページの通りである。

【抽出率算定に用いる誤差算式】

$$\begin{aligned}
 (C^{(k)})^2 = & \sum_r \sum_h \left[\frac{1}{M_{rh}} \left(\frac{1}{f_{rh}} - 1 \right) \left(\frac{(N_{rh} \bar{X}_{rh})^2}{(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{X}_{r'h'})^2} (C x_{rh}^{(k)})^2 + \frac{(N_{rh} \bar{Y}_{rh})^2}{(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{Y}_{r'h'})^2} (C y_{rh}^{(k)})^2 \right. \right. \\
 & - 2 \frac{(N_{rh} \bar{X}_{rh})(N_{rh} \bar{Y}_{rh})}{(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{X}_{r'h'})(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{Y}_{r'h'})} C x y_{rh}^{(k)} - \frac{(N_{rh} \bar{X}_{rh})^2}{(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{X}_{r'h'})^2} (C w_{rh}^{(k)})^2 \left. \right) \\
 & \left. + \frac{1}{N_{rh}} \frac{1}{f_{rh}} \left(\frac{1}{g_{rh}} - 1 \right) \frac{(N_{rh} \bar{X}_{rh})^2}{(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{X}_{r'h'})^2} (C w_{rh}^{(k)})^2 \right]
 \end{aligned}$$

ここで、

- $C^{(k)}$: 目標精度算出区分における企業規模(k)の1人平均所定内給与額の標準誤差率
- r : 目標精度算出区分内における各都道府県、産業の層番号
- h : 事業所規模区分
- $X_{rhij} = Z_{rhij} \times Y_{rhij}$
- Y_{rhij} : 企業規模が k の時1、それ以外の時0となる変数
- Z_{rhij} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h 、 i 事業所の j 番目の労働者の賃金
- M_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h の母集団事業所数
- N_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h の労働者数
- N_{rhi} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h 、 i 事業所の労働者数
- m_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h の標本事業所数
- n_{rhi} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h 、 i 事業所の標本労働者数
- f_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h における事業所の抽出率
- g_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h における労働者の抽出率

$$\hat{T}_{x_{rhi}} = \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} X_{rhij}$$

$$\hat{T}_{x_{rh}} = \frac{M_{rh}}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \hat{T}_{x_{rhi}} = \frac{M_{rh}}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} X_{rhij}$$

$$\hat{\hat{T}}_{x_{rh}} = \frac{1}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \hat{T}_{x_{rhi}} = \frac{1}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} X_{rhij}$$

$$Var(\hat{T}_{x_{rh}}) = \frac{1}{m_{rh} - 1} \sum_{i=1}^{m_{rh}} (\hat{T}_{x_{rhi}} - \hat{\hat{T}}_{x_{rh}})^2$$

$$\hat{T}_{y_{rhi}} = \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} Y_{rhij}$$

$$\hat{T}_{y_{rh}} = \frac{M_{rh}}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \hat{T}_{y_{rhi}} = \frac{M_{rh}}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} Y_{rhij}$$

$$\hat{\hat{T}}_{y_{rh}} = \frac{1}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \hat{T}_{y_{rhi}} = \frac{1}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \frac{N_{rhi}}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} Y_{rhij}$$

$$Var(\hat{T}_{y_{rh}}) = \frac{1}{m_{rh} - 1} \sum_{i=1}^{m_{rh}} (\hat{T}_{y_{rhi}} - \hat{\hat{T}}_{y_{rh}})^2$$

$$\begin{aligned} \text{Cov}(\hat{T}_{x_{rh}}, \hat{T}_{y_{rh}}) &= \frac{1}{m_{rh} - 1} \sum_{i=1}^{m_{rh}} (\hat{T}_{x_{rhi}} - \hat{T}_{x_{rh}})(\hat{T}_{y_{rhi}} - \hat{T}_{y_{rh}}) \\ \bar{X}_{rhi} &= \frac{1}{n_{rhi}} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} X_{rhi j} \\ \text{Var}(X_{rhi}) &= \frac{1}{n_{rhi} - 1} \sum_{j=1}^{n_{rhi}} (X_{rhi j} - \bar{X}_{rhi})^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \bar{X}_{rh} &= \frac{\hat{T}_{x_{rh}}}{N_{rh}} \\ \bar{Y}_{rh} &= \frac{\hat{T}_{y_{rh}}}{N_{rh}} \\ (Cx_{rh}^{(k)})^2 &= \frac{\text{Var}(\hat{T}_{x_{rh}})}{\left(\frac{1}{M_{rh}} \hat{T}_{x_{rh}}\right)^2} \\ (Cy_{rh}^{(k)})^2 &= \frac{\text{Var}(\hat{T}_{y_{rh}})}{\left(\frac{1}{M_{rh}} \hat{T}_{y_{rh}}\right)^2} \\ Cxy_{rh}^{(k)} &= \frac{\text{Cov}(\hat{T}_{x_{rh}}, \hat{T}_{y_{rh}})}{\left(\frac{1}{M_{rh}} \hat{T}_{x_{rh}}\right) \left(\frac{1}{M_{rh}} \hat{T}_{y_{rh}}\right)} \\ (Cw_{rh}^{(k)})^2 &= \frac{1}{m_{rh}} \sum_{i=1}^{m_{rh}} \left(\frac{N_{rhi}}{\left(\frac{1}{M_{rh}} N_{rh}\right)} \right) \frac{\text{Var}(X_{rhi})}{\left(\frac{1}{N_{rh}} \hat{T}_{x_{rh}}\right)^2} \\ (Cw'_{rh}^{(k)})^2 &= \frac{M_{rh}}{N_{rh}} \left(\frac{1}{g'_{rh}} - 1 \right) (Cw_{rh}^{(k)})^2 \end{aligned}$$

である。

なお、式中の $N_{rh}\bar{X}_{rh}$ 、 $N_{rh}\bar{Y}_{rh}$ 、 $(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{X}_{r'h'})$ 、 $(\sum_{r'=1}^R \sum_{h'=1}^L N_{r'h'} \bar{Y}_{r'h'})$ 、 $(Cx_{rh}^{(k)})^2$ 、 $(Cy_{rh}^{(k)})^2$ 、 $Cxy_{rh}^{(k)}$ 、 $(Cw_{rh}^{(k)})^2$ 、 $(Cw'_{rh}^{(k)})^2$ は過去の実績を基に計算している。ここで、

g'_{rh} : (各都道府県、産業 r における) 事業所規模 h における労働者の抽出率 (実績)

である。